

米国 1つの大きくて美しい法案には果樹の勝利が含まれる

[Good Fruit Grower 2025年7月9日](#)

米国連邦議会で僅差で可決された「1つの大きくて美しい法案(One Big Beautiful Bill)」には、果樹産業にとってのいくつかの大きくて美しい勝利が含まれている。

論争的となっていた予算調整パッケージは、トランプ大統領が7月4日に署名して法的に成立したが、連邦レベルの問題で果樹栽培者を代表する北西部園芸評議会の上級副会長であるケイト・タイナン氏は、この中には、研究費の大幅な増加等、いくつかの特産作物(園芸作物等)支援事業のための資金提供を延長及び拡大する規定が含まれていると述べた。

以下は、新しい法律の中の果樹に関係するいくつかの重点事項である。

- 果樹業界の団体が海外プロモーションに使用できる市場アクセス事業の資金を年間4億ドルに倍増する。
- 特産作物研究事業(Specialty Crop Research Initiative)の資金を年間9,500万ドル増額して1億7,500万ドルとし、これには機械化研究のための2千万ドルが含まれる。
- 特産作物包括的資金(Specialty Crop Block Grant)を1,500万ドル増額し、年間総額1億ドルとする。
- 全米クリーンプラントネットワークへの資金提供を増額する。ネットワークの一部であるワシントン州立大学キャンパス内(プロッサー市)の北西部クリーンプラントセンターとカリフォルニア大学デービス校内のファウンデーションプラントサービス(FPS)は、商業生産前の果樹の病害のスクリーニングを支援している。

今回の調整の対象となった事項は、5年間の農業法案の一部として、北西部園芸評議会、米国リンゴ協会、その他の特産作物の擁護者達によって求められていた。しかし、2018年に最後に可決されて以来、議会は農業法を見直していない。同法は2023年と2024年に延長され、現在は9月に期限切れとなる予定である。

執筆者: ロス・コートニー

米国ワシントン州 サクランボは収穫も多いが需要も多い

[FreshPlazal 2025年7月9日](#)

ワシントン州が今シーズン、かなりの量のサクランボの収穫を見込んでいることは、今では広く知られている。暖かく乾燥した春の天候により、受粉と着果の条件が良好であった。ジーウィズのブランドでサクランボを市場に投入しているオービルフルーツ社の営業販売部長であるブライアン・トラウム氏は、「弊社の出荷量は約30%増加する」と話す(以下「」は同氏の話)。良好な生育条件に加えて、今シーズンは栽培面積の拡大によっても出荷量が増える。「弊社は、新植した果樹の出荷の開始にも恵まれている。」

輸出 供給の増加にもかかわらず、ジーウィズブランドのサクランボの大部分はこの時点で売約済みである。「ただし、夏季の不足を埋めたい取引先には、幾分かの供給の余地がある。」すべてのサクランボは、ワシントン州コロンビア川流域のオロンド地区で栽培されている。「この肥沃な地域で栽培されたサクランボは品質が卓越しており、その結果、弊社のサクランボの大部分が輸出されている。」それよりも少ない国内市場向けの出荷分は、全米の小売業者に提供されている。

ワシントン州とブリティッシュコロンビア州(カナダ)では今シーズン、平年以上の供給を予測しているが、カリフォルニア州の生産量は大幅に減少し、ヨーロッパからも減少が報告されている。「世界の供給量が減少すると予測される中、需要は堅調で、ジーウィズのサクランボは順調な夏に向けた展開が期待される。」

同社は、シーズン初期の品種であるレーニアのほか、ビング、ラパン等のダークスイート系のサクランボも栽培している。すべての品種は、今から8月上旬まで入手可能である。

執筆者: マリーカ・ヘムス

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)